



2012 10

通刊404号

LION FUKUSHIMA
2012-2013

ライオン福島



2012-2013年度 スローガン *Slogan*



国際会長(ウェイン・A・マデン)テーマ
奉仕の世界

332複合地区 アクティビティスローガン
愛深く 復興信じて We Serve

332-D地区 ガバナーテーマ
ふるさと福島♥心はいつも一緒

332-D地区 アクティビティスローガン
元気と笑顔と郷土愛で復興

表紙写真 福島秋祭り「連山車」

毎年恒例の福島秋祭り連山車が、今年も10月7日、街なかで開催されます。子どもたちの「ヤーレ、ヤレ、ヤレー」と元気いっぱいな掛け声とともに、各町会自慢の山車が街なかを練り歩き、駅前通りで一堂に会します。この姿を一目見ようと、通りは大勢の人で埋め尽くされます。祭りの活気は、震災に負けない福島を元気と笑顔で後押しします。



ライオンカレンダー *Event Information*

10月

2日(火)	第4回内局員会議(於:カルチェ ド シャン・ブリアン)
8日(月)	ライオンズ奉仕デー・目の愛護デー講演会(於:いわき市LATOV)
14日(日)	柳津ライオンズクラブ30周年記念式典(於:つきみが丘町民センター)
21日(日)	二本松ライオンズクラブ45周年記念式典(於:二本松御苑) 福島あづまライオンズクラブ25周年記念式典(於:ウェディング・エルティ)
24日(水)	333-D地区 第4R第1Z ぞ来県
26日(金)	GMT・GLTワークショップ(於:郡山ビューホテル) 第1回全日本GMTコーディネーター会議(於:東京 八重洲富士ホテル)

11月

3日(土)	薬物乱用防止教育認定講師養成講座(於:サンフレッシュ郡山)
8日(木)~11日(日)	第51回OSEALフォーラム(於:福岡)
14日(水)	第2回名誉顧問会議
15日(木)	332-D地区ニューメンバースクール(於:郡山ビューホテルアネックス)
20日(火)	第2回キャビネット会議 第2回ZC会議 第2回各委員会会議

目次 *Contents*

● 目の愛護デー「アイバンク特集」	2・3
● 第1回キャビネット会議	4
● 松田則保名誉顧問の告別式	5
● ゾーン・チェアパーソン挨拶	6・7
● 委員長挨拶	8・9
● 第3R・第1Z・第2Z合同ガバナー公式訪問	10
● 第4R・第2Zガバナー公式訪問	11
● 第5R・第1Zガバナー公式訪問	12
● 第5R・第2Zガバナー公式訪問	13
● GMT・GLT・ZCワークショップ開催	14
● ライオンズクエスト	15
● 東日本大震災合同支援事業	16
● 第6R・第2Z「第1回ゾーン会議」開催	17
● 各ライオンズクラブ活動報告	18~24

目の愛護デー アイバンク特集



<角膜移植の効果>

すべての視力障害者が、この手術によって視力を回復できるわけではありません。網膜や神経経の病気で失明した人は残念ながら適応外です。角膜が濁ったり変形したために見えなくなった人のみが適応となります。

死後あまり時間の経たないうち(6時間から10時間以内)に眼球(角膜)摘出を行い、移植適否についての眼球の医学的検査後、特殊な保存液内に眼球(角膜)を保存し手術を行います。手術の成功率は90%以上ですが、術後の拒絶反応に対する十分な治療が必要です。今後も技術と治療薬の進歩によって成功率は更に向上すると思われれます。

<角膜移植とは…>

角膜は、黒目の表面を被っている透明な膜で、これを通して光が網膜に達し、初めて物が見えるのです。しかし病気やケガで角膜が白く濁ると見えなくなるのです。これらの人達が視力を取り戻すためには、透明な人間の角膜が必要です。濁った角膜を透明な角膜と取り替える手術が角膜移植といえます。

<手術を待っている多くの人たちがいます>

平成22年3月末現在、全国のアイバンクへの登録者総数は142万人を超え51,316人からの御提供をいただき、角膜移植手術が行われました。このようにアイバンクは全国各地で懸命に活動しているのですが、全国で、今すぐに手術を受けなければならぬと診断され角膜移植を申し込んで順番を待っている患者さんは、全国のアイバンク調べでは、平成22年3月末で2,604人もおり、平成21年度1年間に提供された眼球数(1,636眼)と比べ、1.6倍も多いのです。これは今、角膜移植を受けたいと申し込んでも実際に角膜移植が受けられるのは2年先ということを意味し、待っている間に時期を失って手遅れになる症例も少なくありません。待ち時間を今の1年以内にするためには、少なくとも今の倍の献眼登録者が必要で、アイバンクでは1人でも多くの人達から献眼していただけるよう、皆様の献眼登録をお待ちしております。

<移植に使う角膜>

移植に使う透明な角膜は、亡くなられた人の眼球から得られます。角膜さえ透明であれば、近視や乱視でも、また「そこひ」のある目でも、角膜移植に使えます。ただ伝染の恐れのある病気で亡くなられた場合(HIV、B型・C型肝炎、敗血症、一部の白血病等)や、変死の場合は使えないこともあります。

お問い合わせは ————— (財)福島県臓器移植推進財団 TEL/FAX:024-521-9027 まで

【献眼時の手順について】

(財)福島県臓器移植推進財団を通じて
アイバンクに登録

登録していただいた方に
万一ご不幸があった場合

献眼時の緊急連絡先へ
ご連絡をお願いします

県立医大（代表）

024-547-1111

（眼科病棟 内線：3395・3396）

※24 時間体制で献眼の取次を行います。献眼希望の旨をお伝えいただくと取次がスムーズに行えます。

医師が派遣され、準備時間を含め
2時間程度ご提供いただく処置を
します

332-D 地区キャビネット事務局へ
ご連絡をお願いします

TEL024-937-0830

FAX024-937-0831

死後、夏季は6時間以内、冬季は
10時間以内に、眼球（角膜）を特殊
な保存液内に保存することが望ましい
ので、早めのご連絡が必要となります。
（上記時間を超えて摘出可能な場合もあ
ります。その場合の判断は医師が行いま
す。）

厚生労働大臣と(財)福島県臓器移植推進財団、332-D地区ガバナー
より感謝状をお送り致します。

※なお、日数によってはご葬儀当日にお届けできない場合がございますのでご了承下さい。厚生労働大臣からの感謝状は日数を要しますので、ご葬儀当日へのお届けはできませんのでご了承下さい。

目の愛護デー講演会開催

10月8日(月・祝) 14:00~16:30

いわき産業創造館：LATOV(ラトブ)6階



第1回 キャビネット会議

ライオンズクラブ国際協会332-D地区の今期第1回キャビネット会議は8月21日いわき市内のカルチエドシャン・ブリアンに於いて開催されました。地区役員100名が出席、午後2時30分開始。キャビネット副幹事兼事務局長L.佐藤君榮の司会で進められ、開会ゴングが地区ガバナー L.坂本勇によって行われた。国旗に敬礼、そして国歌「君が代」斉唱が高らかに歌われ、志半ばで亡くなられた会員を偲んで黙祷が捧げられた。会員の紹介をキャビネット副幹事兼事務局次長L.大竹淳が行いました。続いてガバナー挨拶。ガバナーはガバナーエレクトL.杉本一十士急逝により急遽、ガバナー指名を受けた経緯を説明され、杉本氏の遺志を継いで頑張っていきたいと挨拶がありました。次に前ガバナー L.久保田善九郎が名誉顧問会議長の挨拶をし、引き続き第1副地区ガバナー L.安澤荘一と第2副地区ガバナー L.渡邊豊の挨拶がありました。その後は式次第の通りに進み、坂本ガバナーより「ふるさと福島♡心はいつも一緒」をテーマとする今年度の基本方針と会員の増強や新クラブ結成なども含めた十二項目を柱とした重点目標を詳細に説明されました。順調に会議が進行され、幹事報告、会計報告決議事項要約確認、LCIF \$ 1,000献金者へ栄誉賞贈呈。前三役に記念品贈呈。会議は総て決議報告され、今期の飛躍を誓い坂本ガバナーにより閉会ゴングが鳴らされました。その後別会場にて希望Lでの懇親会が催されました。

今期の重点目標は

1. G・M・T, G・L・Tについて
2. 地区アラート委員会について
3. 常任顧問制度を廃止します
4. 青少年育成・ライオンズクエスト委員会について
5. 世界ライオンズデー
6. LCIF・大会参加・国際関係委員会について
7. PR.ライオンズ情報委員会について
8. 献血・臓器移植推進委員会について
9. 環境保全・文化及び地域社会活動委員会について
10. IT委員会について
11. YCE委員会について
12. 平和ポスター委員会について





謹んでご冥福を
お祈り申し上げます。

L松田則保(保原LC所属)は、1971年保原ライオンズクラブに入会(チャーターメンバー)1978年7月～1979年6月までクラブ会長、1984年7月～1985年6月までゾーン・チェアパーソン、1991年7月～1992年6月までリジョン・チェアパーソン、2004年7月～2005年6月までライオンズクラブ国際協会332-D地区ガバナー、2007年7月～2008年6月まで複合地区協議会議長として数多くの実績を残されました。また、約40年間保護司を務められ福島県保護司会連合会長として常に他人に気を掛け、正義感を通し続け更生保護に尽力されました。1994年に藍綬褒章、2003年に勲五等瑞宝章を受章されました。元国際理事のL山浦晟暉をはじめ、332-D地区ガバナー L坂本勇や多くの名誉顧問、ライオン業界の方、各界の方々から弔辞・弔電を賜り、安らかに永眠されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



ゾーン・チェアパーソン挨拶

Zone Chairperson-Greeting

第2R・第2Z・ZC

L. 古溝 忠一 (国見)



この度、第2R・第2Zゾーン・チェアパーソンを拝命し、身に余る光栄と共に、重い責任を感じております。332-D地区は特に、昨年の震災・原発と二重の苦しみ、そして長引く経済不況の中、会員の減少など各クラブの運営は厳しい状況にあります。しかしもう一度原点にかえり、お互い協力しあって、各クラブの地域が明るくなるような奉仕活動が大切であると考えております。坂本地区ガバナーのアクティビティスローガンである「元気と笑顔と郷土愛で復興」を目標に、ゾーン内5クラブのまとめ役としての責務を果たすため、微力ではございますが精一杯努力して参りたいと思います。会員の皆様にはご協力をお願いし、本地区全体の活力ある豊かな地域づくりに貢献できるよう、尽力する次第でございます。この一年間、皆様方のご指導とご支援をお願い申し上げ、就任のご挨拶と致します。

第3R・第1Z・ZC

L. 荒川 友成 (郡山西)



このたび郡山西ライオンズクラブの推薦により第3R第1Zのゾーン・チェアパーソンの大役をお引受けすることになりましたL荒川友成です。その責任の重大さに身の引き締まる思いがします。坂本勇ガバナーの基本方針を遂行するとともに332-D地区のアクティビティスローガン「元気と笑顔と郷土愛で復興」を目指し3R内の意志疎通をはかってまいりたいと思います。東日本大震災と福島原子力発電所の原発事故はもまだに解決の見通しが立たない中、全国のライオンズクラブからの支援・義援は目を見張るものがあります。引き続き支援の輪を広げてまいりたいと思います。又、各クラブの三役の方々と協力をして会員の維持・増強をはかってまいります。第2Zの山下秀雄ZCとも協力をして県中地区の会員の増強を積極的に進めてまいりたいと思います。3R内のクラブ各員のご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。この1年間全身全霊を傾けてZCの職責を遂行してまいりますので会員各位のご指導を宜しく申し上げます。

第3R・第2Z・ZC

L. 山下 秀雄 (磐梯熱海)



この度、磐梯熱海ライオンズクラブの推薦により、第3R・第2Z・ゾーン・チェアパーソンを引き受けることになりましたL. 山下です。その任務の重大さに、身の引き締まる思いを致しております。今期のガバナーテーマ「ふるさと福島♥心はいつも一緒」、アクティビティスローガン「元気と笑顔と郷土愛で復興」を念頭にキャビネットとの橋渡しの役目に徹し、基本方針並びに重点目標に沿った活動を推進して参る所存であります。ライオンズクラブは「ウィ・サーブ」の精神のもと、同じ高い志を持つ会員の集まる団体であります。又、出会いという宝物を与えてくれる大切な場所でもあります。今年一年間、ゾーン内の各クラブとの意識を共有し、会員相互の親睦と地域社会へのより良い奉仕活動が展開出来るよう、微力ではございますが、一生懸命努力したいと思っておりますので、先輩Lのご指導とライオン各位のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

第1R・第1Z・ZC

L. 菅野 文吉 (川俣)



この度、川俣ライオンズクラブの会員の皆様方に推薦され、第1R・第1Z・ZCを務めさせていただきます。川俣LC所属のL菅野文吉でございます。その職務の重大さに、身の引き締まる思いであります。坂本勇地区ガバナーの指導のもと、ゾーンの向上に努め、活動して参りたいと思っております。昨年の3月11日の東日本大震災、そして、絶対に安心で安全と言われた福島第一原子力発電所の事故で、多くの方々が今でも県内外に避難しており、現在も解決の糸が見えない状況であり、大変な御苦労をしておりますことに対し、ライオンズクラブが出来うる活動をしながら、頑張っていきたいと思っております。地区GMT・GLTコーディネーターとしっかり連携し、最大の課題である会員の増強そして教育・指導力の役割を果たし、そして、ゾーン内各クラブ及び会員皆様方の御理解と御協力を賜りながら、一年間の職責を努めていければと思っております。どうか、宜しくお願い申し上げます。

第1R・第2Z・ZC

L. 佐久間 勝 (岩代)



この度、岩代ライオンズクラブの推薦により、第1R・第2Zのゾーン・チェアパーソンを務めることになりました。L. 佐久間勝でございます。本年度、坂本勇ガバナーの基本方針・重点目標に沿った活動を推進して参る所存であります。ZCは、ライオンズ組織の重要な役割を担っており、活動的で指導力に富んでいなければならない。地区ガバナーの指導・監督の下、ガバナー諮問委員会委員長として定例会を開く。ゾーン内各クラブの活動の発展、そしてお互いにアイデアを交換できるように図る。新入会員研修を行う。等、様々な任務があります。又、昨年に引き続きLCIFからの支援等、大震災からの復興、とりわけ原発問題にどの様な支援が出来るのか?これら活動に各クラブが万全の力を注ぎ込めるよう、お手伝いをさせて頂く考えでありますので、地区役員、ゾーン内各クラブ三役、会員の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます、一年間活動して参りますので宜しくお願い申し上げます。

第2R・第1Z・ZC

L. 藤田 勝太郎 (福島東)



第2R・第1Zのゾーン・チェアパーソン福島東LC所属の藤田勝太郎です。(L歴28年)1984年6月福島東LC入会、1993年13代会長、25周年大会委員長、そして今回ZCをお引受け致しました。一年間宜しくご指導お願い致します。さて、ゾーン・チェアパーソンとして、地区ガバナー方針に従いゾーン内各クラブと連絡を取りながら、各クラブの意欲をそれぞれのクラブが更なる力を発揮出来るよう相談していきたい。クラブに応じたアクティビティの支援をお願いして参ります。ゾーンの各クラブがそれぞれ優れたクラブになるよう努力し、ゾーン・チェアパーソンとして責任と認識を持って、各クラブの更なる向上のため努力しますので、各クラブ今期のご協力を宜しく申し上げます。

第5R・第2Z・ZC

L. 関 進 (棚倉)



入会して25年目を迎える今期、棚倉ライオンズクラブの推薦を受けまして、第5R・第2Z・ZCの大役を受ける事になり、その重責に身の引き締まる思いをいたしております。地区ガバナー基本方針「クラブ活性化のために前向きに行動する」を原点に考え、皆で討議、皆で決める、皆でやる。をモットーに、ゾーン内の交流を広め、キャビネットと各クラブとのパイプ役として、楽しいクラブ、楽しい仲間、楽しいコミュニケーション、であるクラブづくりの意識を共有し、進めていきたいと考えております。地区ガバナーはもとより、役員・諸先輩Lのご指導を仰ぎながら、推進して参る所存であります。未熟ではありますが、ゾーン内各クラブ役員の皆様、各会員の皆様の心強い応援とご指導、ご協力をいただき「ウィ・サーブ」と「友愛と寛容」の精神で、一年間活動して参りますので宜しく願い申し上げます。

第6R・第1Z・ZC

L. 山田 信幸 (いわき泉)



拝啓 盛夏の候、会員皆様には益々ご清栄のことお喜び申し上げます。この度、6R-1Zのゾーン・チェアパーソンを拝命する事となり、巡ってきた大役に若干緊張し、日々追うごとに責務の重さを痛感いたしております。反面、この役職を引き受けたことで、一年間、数多くの奉仕活動にかかわることができ、そして多くの人と出会えますことを心より楽しみにしております。現在の社会環境は、大変厳しい状況にあります。リーマンショックに始まり、昨年の大震災と原発問題、追い打ちをかけるようにガバナーエレクト山本Lの突然のご逝去、本当に残念でたまりません。こういう時期こそ会員相互の連携と活性化をはかり、互いの信頼を深め合うことが必要かと思っております。ゾーン内各クラブの皆様が楽しく活動できるようにお手伝いできれば幸いです。そして、ガバナーの運営基本方針のもと、各クラブとキャビネットのパイプ役として一生懸命努めたいと思っておりますので宜しく願い申し上げます。

第6R・第2Z・ZC

L. 藤田 修 (新地)



今年度、新地ライオンズクラブの推薦により第6R・第2ZのZCを務める新地LC所属のL.藤田 修です。地区ガバナー L坂本 勇の指導、監督の元「元氣と笑顔と郷土愛で復興」に沿って、全力で務めて参ります。ここ第6R・第2Zは、原町LC、相馬LC、飯館LC、新地LCの4クラブで構成され、昨年3月11日の地震、大津波、原子力発電所の事故にて直接被害を受けた所にあります。現在地域の復旧は進んでまいりましたが、復興にはまだまだ長い時間が必要です。その中で地域の復興、又各クラブに「何が必要か?」「何をすべきか!!」を常に考え、努力しWe Serveの精神にて進んで行く所存でございます。この1年間ゾーン各クラブとキャビネットの連絡役としての務めを全力で果たして参りますので、宜しく願い致します。

第4R・第1Z・ZC

L. 金子 恒夫 (会津若松鶴城)



この度、4R1Zゾーン・チェアパーソンの大役を仰せつかりました。光栄と共に身の引き締まる思いをしております。世の中大変な不況の嵐が吹き荒れております。ライオンズクラブの活動にも会員の維持、確保という面において大きな逆風となっております。クラブ活動も変化が求められており、変化に挑戦することがライオンズクラブ活動の活性化につながると確信しております。坂本ガバナーの重点目標の実現に向けてゾーン内8クラブ全員のご協力をお願いして、微力ではございますが、精一杯努力して参りたいと思っております。この1年間皆様方のご指導、ご支援を心からお願い申し上げます。

第4R・第2Z・ZC

L. 杉原 稔 (会津高田)



第4R・第2ZのZCに就任した会津高田LCの杉原稔です。ライオン歴もまもなく25年になります。これまであまり熱心なメンバーでなかったので本務を受けるにあたり果してゾーン内クラブ諸兄を導き地区のチームを結ぶ柱になれるか、忸怩たるものがあります。しかし、お引受けした限りは一貫専心、そして精進して職責を全うする覚悟です。基本的にはガバナー基本方針並びに重点目標に沿った活動を推進し、ライオンズクラブの設立主旨に立ち返ったアクションスタンスを取って行きたいと思っております。世の中のために役に立ちたい、大上段でなくともささやかに人のお手伝いをしたいと願う人は数多くおります。それは人間として最大の喜びだからです。その人の持つ秘めた潜在的な欲求を引き出し、一つの力としてクラブ・アクティビティに繋げ、尚且つメンバーの一員として参加していただけるよう勤めてまいりたい。「社会奉仕」、これを前面に掲げ多くの方々へ尊いライオンズクラブの意義と目的を御理解願う。最後に各クラブのご協力とご支援を心からお願い申し上げます。

第5R・第1Z・ZC

L. 遠藤 富一 (石川)



このたび、第5R・第1Z・ZCを務める事になりました。石川LC所属L遠藤富一です。ZCの大役を引受ける事となり、その職務の重大さに微力な私がどれだけ出来るかわかりませんが、各役員、諸先輩Lのご指導を仰ぎ、身の丈以上は無理ですが、一生懸命務めて参ります。ガバナーエレクトL杉本 一十士の御霊に御悔み申し上げ、そして遺志を引き継がれました坂本 勇地区ガバナーの基本方針・重点目標に沿った活動を邁進して参りたいと思っております。ガバナー公式訪問、年3回の諮問委員会会議、GMT・GLT等々、そしてゾーン内クラブの訪問を行い、維持、継続を基本に、私も勉強しながら副地区ガバナー、コーディネーターと連携し責務を全うしたいと思っております。昨年の3.11大地震により甚大な被害、そして放射能問題で福島県の復興には長い時間がかかると思われ、ライオンズクラブも重大な役割を担う事とされますので、ゾーン内7クラブの絆を深め、各クラブのご理解ご協力を得、そしてご指導を仰ぎながら今年一年間務めて参りますので宜しく願い致します。

委員長挨拶

Chairperson-Greeting

YCE委員会

委員長 L. 佐々木 光幸 (郡山北)



この度、YCE委員長を仰せつかりましたL. 佐々木でございます。

今期、坂本地区ガバナーの基本方針の中にある「一日も早く、生まれた、育った土地に戻りたい」、正にこの言葉の中に福島県を襲った大災害(地震・津波・原発事故)の爪跡が如実に表れていると思います。

この時我々ライオンズは何を為さなければならないか、あまりにも大きな出来事に使命感をもって対処しなければならない時期だと心引き締まる思いであります。

その中で、原発事故による風評被害がいまだ払拭されない当地区ではありますが、YCE活動の中の受入れについては正に暗中模索で複合地区全体での受入れの方向、又は、隣県(隣地区)との連携を模索するなど多面的に考える必要があるかと思えます。

また、こういう時期だからこそ、派遣生については日本の良き文化、伝統、風土を他国に正に特使の気持ちで伝えてもらえるような我々の助力が必要ではないでしょうか!

そして福島の現実を正確に発信する事が大切かと考えます。派遣先に於いては、17歳から21歳と言う感性豊かなこの時期に異文化を吸収し、日本と世界の価値観を共合できる感覚を育てることも重要だと思えます。そしてまた、ライオンズの事業、YCEの活動も混沌としたこの時期だからこそ前期からの方針を継続し、新たなものを積あげていくことを基本と考え、まだまだYCEについては勉強中ではありますが諸先輩に学び副委員長に協力を願ひ「一つでも結果を出そう」これをスローガンに頑張っていく所存であります。

末尾に各クラブのご指導、ご協力の程を宜しくお願い申し上げます。

YCE実行委員会

委員長 L. 伊藤 実 (会津若松鶴城)



YE副委員長、YCE委員長と2年間お世話になりました。東日本大震災の影響もあり、昨年より来日生が少なくなりましたが、派遣生については、冬期マレーシア1名・夏期フィンランド1名と派遣出来ました。昨年の帰国報告会には、多くの体験、感想を聞かせてもらい、自分自身YCE活動に参加でき感謝しております。もう少しYCE実行委員長でお世話になりますので、宜しくお願い致します。

青少年育成・ライオンズクエスト委員会

委員長 L. 廣瀬 涉 (西会津)



この度、西会津ライオンズクラブの推薦のもと、地区ガバナーより任命を戴き、前期に引き続き当委員会の委員長を務めることになりましたがよろしくお願ひいたします。昨年度より、ガバナーの重点目標として332-D地区におきまして新たにライオンズクエスト事業がスタートしました。青少年健全育成のためのライオンズクエスト・プログラムは、今、世界30カ国の多くの教育現場で効果を上げ、日本でも広がりを見せています。

現在、いじめの問題も大きく取り上げられ、子供たちに取り巻く環境は厳しく大変な日々が続いております。このような状況の中で、子供たちが直面するさまざまな問題や困難を解決し乗り越えていく力を高めていくことが出来るのは、ライオンズクエスト事業であると確信しております。次代を担う子供たちの健全なる成長のために、微力ながら副委員長の方々と共に取り組んでまいります。薬物乱用防止とともに当事業につきましてご理解を戴き、ご指導ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

<今年度の事業計画>

- ①薬物乱用防止への取り組み(薬物乱用防止教育認定講師講習会の開催など)
- ②ライオンズクエストの推進(セミナー、ワークショップの開催)

IT委員会

委員長 L. 矢代 典義 (いわき勿来)

初めての委員長を拝命し、身も心も引き締まる思いであります。また、副委員長各位との打合せが済んでおりませんので、具体的に何をどう進めるかは未定です。ただ、一般的な流れとして、現状把握・問題点の抽出を図り、ITの有効利用を推進したいと思っております。また、キャビネット事務局や他委員会との連携も必要になると考えられます。一年間という短いスパンでの活動になりますので、副委員長各位と協力しながら頑張っております。

献血・臓器移植推進委員会

委員長 **L. 別府 一男** (郡山東)



この度、郡山東ライオンズクラブの推薦によりまして当委員会の委員長を務めることになりました。別府一男でございます。

前年度のL小嶋委員長の素晴らしい働きにより、申し送り事項の中にもありますが、委員会の名称について献眼については昨年の理事会(福島県アイバンク協会)が福島県腎臓協会に吸収合併されることになり、これからは広く臓器移植に関して取り組んでいく姿勢になってきており、今年度から名称を少し変更して献血・臓器移植推進委員会となりました。

今年度も引き続きアイバンク登録の拡大に取り組んでいきます。特に10月の世界ライオンズデーに合わせて「目の愛護デー」としていわき市において講演会を実施して行きたいと考えております。アイバンク登録拡大には市民にアイバンクへの理解を広めることが不可欠です。

それと各クラブが例会で視覚障害者の現状とアイバンクの活動についてゲストをお招きして講和をしていただくことがクラブ内においても意識の向上につながるのではないのでしょうか。また「ひかりの箱」募金につきましては引き続きお願いを申し上げます。

平和ポスター委員会

委員長 **L. 高野 弘一郎** (東和)



この度、東和LCの推薦により、平和ポスター委員長をお引き受けする事になりました。L. 高野弘一郎でございます。責任の重さに身の引き締まる思いであります。

世界の子供たちに平和について考えてもらう目的で、絵を表現するコンテストを行って、今年度で25回目の節目の年に担当する事になり感激しております。前年度は平野委員長のご活躍のもとに、参加クラブ52クラブ、参加校133校、応募総数2,728点と多数のご応募があり、その中から最優秀賞1点を含む23点が入賞作品に選ばれたとの結果でした。

今年度は、25回目の記念の年であることから、332-D地区76クラブ全クラブが参加され、管内小・中学校への積極的な動きかけをお願い致します。

そこで記念の年にふさわしい素晴らしい作品が出品できればと、ご期待致します。結びに、各クラブのご協力をお願い致しますとともに、今期一年間微力ではありますが、委員長の職を務めさせて戴きますので、ご指導ご協力をお願い申し上げます。

LCIF・大会参加・国際関係委員会

委員長 **L. 安澤 莊一** (白河小峰)



今期LCIF・大会参加・国際関係委員長を仰せつかりました。責任の重さに身の引き締まる思いであります。さて、あの3月11日から1年6か月が経過しました。東日本大震災で見た一筋の光。それは、人々の「絆」であります。一つにつながることの大切さと、そこから生まれる力。人々の「絆」は、まさに復興の原動力であります。ライオンズクラブの一員として「絆」という言葉の重みを改めて考えさせられました。奉仕団体の一人として「絆」を去年の言葉で終わらせてはならないと思います。また、LCIFから日本国内は勿論、世界の国々から言葉では言い尽くせない程の支援援助がありましたことは第58回地区年次大会の記念誌に記載されている通りで、これまでにない金額のアクティビティでありましたことはご案内の事と思います。つきましては、今期はLCIFについて啓蒙活動に努めて参ります。皆様方のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

環境保全・文化及び地域社会活動委員会

委員長 **L. 高橋 友治** (福島中央)



このたび福島中央ライオンズクラブの推薦により当委員会の委員長をお引き受けすることになりました。L高橋友治でございます。

環境保全から文化及び地域社会活動という幅広い分野を取り扱う委員会です。各クラブが継続して取り組んできた、優れたアクティビティもたくさんありますが、会長さんの独自のアイデアで新しいアクティビティに取り組んでいただけたら幸いです。

委員会の事業としましては、前年度に引き続き植樹の推進、環境保全功労者表彰等を行うと共に、植樹や清掃奉仕活動をゾーン単位で出来ないかも検討したいと思います。また、福島県全体が、原発事故による放射能の除染が問題になっております。各地でこれから除染の作業が本格的に行われると思いますが、我々ライオンズも除染の問題に関心を持って取り組もうではありませんか。それが復興の第一歩になると思います。一年間よろしくお願い申し上げます。

坂本 勇ガバナー公式訪問 合同例会各地区で開催される



坂本地区ガバナーを向かえて開かれた合同例会

第3R・第1Z・第2Z合同 ガバナー公式訪問

日時／平成24年8月27日(月) PM5:00～
会場／郡山ビューホテルアネックス

坂本勇ガバナー公式訪問と第3R第1Z・第2Z・12LC、170名の参加をいただき合同例会が開催されました。

坂本勇ガバナーより、会員維持と会員増強に向けた行動を共に考えながら、会員の皆様と、「元気と笑顔と郷土愛で復興」を目標に、頑張りましょうとの力強い挨拶を頂きました。阿久津稔 郡山あさかLC会長が「福島復興のために一体となって活動していきたい」と代表挨拶をしました。また、10月8日の世界ライオンズデーに於いて、猪苗代湖畔清掃の合同アクティビティが発表されました。また、新入会員の入会式も行われ、合同例会終了後、歓迎晩餐会が催され親睦を深めました。



合同例会に先だって行われた質問会の様子



会員同士が親しく懇親を深めた





第4R第2Z地区 ガバナー公式訪問

ガバナー公式訪問盛況裡に終わる。

8月30日(木)坂本勇ガバナーをお迎えして7クラブ質問会、合同例会が歴史と文化のふるさと会津美里町「ハートピア高田」で開催、公式訪問合同例会に先立ち午後3時から平野昭男キャビネット副幹事の進行、滝澤利一キャビネット幹事の開会で質問会始まる。坂本勇ガバナー挨拶と基本方針、重点目標を発表があった。①会員が高齢化し減少傾向にあるので、会員増強推進とLCIFの推進について努力していただきたい旨の要望が坂本ガバナーからあった。鈴木正朗キャビネット会計の閉会で質問会は終了した。約一時間会場を移してガバナー公式訪問7クラブ合同例会が開催された。合同例会では、司会2Z秘書のL鈴木繁明で始まり盛大な拍手の中ZC杉原稔のエスコートとして、ガバナー坂本勇を会場にお迎えし、会津高田LC会長L高山憲一の開会ゴングで開会した。会津喜多方LC会長L女池義昭が地区ガバナー及びキャビネット役員を紹介をした。ZC杉原稔がガバナー公式訪問の歓迎のことばと7クラブ紹介、ガバナーの経歴紹介を行った。ガバナー坂本勇Lが332-D地区発展のため、7クラブの活発な活動を期待し基本方針、重点目標達成するため332-D地区一丸となって活発な活動を期待するとともに会員高齢化に伴い会員数も減少の傾向にあり332-D地区会員目標として現在の1,800名～2,000名、200名の増員を目指している、目標達成のため7クラブの会員増強に

努力していただきたいと挨拶があった。ガバナー L坂本勇からクラブ三役に記念品贈呈、ZC L杉原稔からガバナーキャビネット3役へ記念品贈呈が行われた。キャビネット幹事L滝澤利一、事業報告特にLCIFについての説明あり、7クラブ事業委員長から記念アクティビティ発表行われ、名誉顧問L中島輝哉の元気澆刺な声でライオンズローアを発した。柳津LC会長L武田幹雄の閉会宣言とゴングで閉会した。

ガバナー歓迎晩餐会

ZC幹事L鈴木繁明の司会、西会津LC会長L長谷川隆夫の開会で始まる。ZC杉原稔の主催者挨拶、会津塩川LC会長L長田澤一夫ウイサーブの発声で祝宴に入る。

和気あいあい中なごやかに親睦と友情を深めた。7クラブ単位ごとにガバナー L坂本勇を囲んで記念撮影をとり更なる絆を深めた。一同輪になってスクラムを組んでまた逢う日までを合唱し、本郷白鳳LC幹事L川田賢一郎の発声で幕を閉じた。332-D地区の発展を祈る。

(PRライオンズ情報委員 副委員長 大竹英夫L)



坂本 勇ガバナー公式訪問

合同例会各地区で開催される



第5R第1Z地区 ガバナー公式訪問

と き: 2012年9月4日(火)
 ところ: みのり会館
 時 間: 質問会 16:30~17:20
 7LC合同例会 17:30~

公式訪問7LC合同例会は、第5R・第1Z・ZC L遠藤富一のエスコートでガバナー入場で始まり、石川ILC会長 L桑沢一の開会ゴング、L坂本勇のガバナー挨拶、新入会員4名中3名出席の入会式などがあり、石川シニアLC会長 L岡崎勝宗の閉会ゴングで終了しました。引き続き、ガバナー歓迎パーティとなり、大変盛り上がりました。

PR・ライオンズ情報副委員長 L八重嶋 政俊

第5R・第1Z

須賀川ILC(第1161回)・石川ILC(第1067回)
 須賀中央LC(第899回)・鏡石LC(第701回)
 玉川ILC(第485回)・いわせオリオンLC(第403回)
 石川シニアLC(第208回)



地区ガバナー公式訪問質問会

地区ガバナー公式訪問質問会では、L坂本勇ガバナーより2度目のガバナー就任とキャビネット運営のため価値ある質問会にしたいと挨拶があり、基本方針・重点目標について、詳しい説明がありました。





第5R第2Z地区 ガバナー公式訪問

と き: 2012年9月6日(木)
 ところ: 新富家
 時 間: 質問会 16:00 ~ 17:00
 合同例会 17:40 ~
 ガバナー歓迎晩餐会 19:00 ~

ガバナー公式訪問・合同例会では L村越 誠(棚倉LC会長)の開会ゴングに始まり、L関 進第5R・第2Z・ZCのガバナー歓迎の言葉、L坂本 勇ガバナーより「メンバーの増加・青少年の健全育成について等」の挨拶がありました。ガバナー歓迎パーティーは、L安澤 莊一の乾杯(ウィ・サーブ)で始まり、全員による「また会う日まで」の合唱の輪と共に開きとなりました。

PR・ライオンズ情報副委員長 L八重嶋 政俊

第5R・第2Z
 白河LC(第920回)
 矢吹LC(第946回)
 棚倉LC(第930回)
 白河小峰LC(第919回)
 白河高原LC(第506回)
 あづまLC(第365回)
 塙LC(第471回)

ガバナー公式訪問質問



地区ガバナー公式訪問質問会

ホストクラブ棚倉ライオンズクラブを中心に開催されました。質問会では、L坂本 勇地区ガバナーより「キャビネットも5年前とは変わってきているが 私も一年間病気をせずに取り組んで行きたい。ベテラン揃いのメンバーなので活発な情報交換をお願いしたい。」と挨拶がありました。



GMMT・GLLT・NCC ワークショップ開催される

「退会防止」をテーマに 活発な意見交換を。

GMMT・GLLT・NCCワークショップが去る8月21日いわき市カルチエドシャンウリアンで24名が出席し、GMMTコーディネーター・大槻美紀男GLLTコーディネーター・二瓶克雄の挨拶に続きテーマを「退会防止」としディスカッションの注意点、ブレインストーミングの注意点を聞いた後始まった。

1. ディスカッションの問題の解決策を探ります。
2. ディスカッションテーマについて、各自の考えや意見を順番に発表
3. 発表された意見を基にしてディスカッションを行い、問題の解決策を探ります。
4. 行動計画の立案
5. 各グループの発表者が前に出て順番に発表します。
6. 最後に講師によるまとめをし、全体の評価をします。

右記の順番でワークショップは進められ、2時間という限られた時間内ではありましたが活発な意見交換をし、会議を終えました。



LIONS QUEST



A Program of Lions Clubs International Foundation

Lions Quest 「思春期のライフスキル教育」 プログラム

ライフスキル=困難を上手に乗り越える力



ライフスキルは、私たちが悩んだり、困ったり、迷ったりしたときに使える、人生の知恵やコツの集まり。ポケットの中のハンカチのように、何かあったときさっと出して使える、とても便利な「道具」です。

腹が立ったり落ち込んだりしたとき、気持ちをうまく伝えられないとき、友だちと意見が合わないとき、良くない誘いを受けたとき、将来どうしようか悩んだとき...そんなときに役立つのがライフスキル。このプログラムでは、子どもたちが誰しも経験する日常の困難を乗り越え、友人や家族とのより良い関係を築き、自分らしく生きていくために必要なライフスキルを学びます。またスキルの学習を通して、自分を大切に思う気持ち(自尊心)を高めることをねらいとしています。

【ライフスキルの学習を通して身につけたい9つの価値観】



子どもがプログラムで学習するおもなスキル

- コミュニケーション
- 感情のコントロール
- 意志決定
- 問題解決
- 仲間からの良くない誘いや薬物使用の圧力への対処
- サードパーティーング(自分の力を他者や社会のために役立てる)
- 目標設定

学校の授業を通して子どもに届けます。

このプログラムでは、子どもたちが、安心できる良い雰囲気の中で、自ら取り組みながら、その中で多様なライフスキルを系統的に学び、練習し、身につけていきます。またライフスキルの学習や実践を通して、9つの価値観を子どもたちに伝えていきます。プログラムの授業は、2日間のワークショップ(研修会)を修了した先生方により実践されます。

体験会では、プログラムを教育関係者やライオンズクラブメンバーに体験を交えてご紹介いたします。ライフスキルとは何か、ライオンズクエストではどのようにライフスキルと自尊心を育もうとしているのかなどをご説明します。また、ライフスキルの授業を体験していただきます。



ライオンズクエスト校内型ワークショップ開催される

2012年8月22日、23日の2日間に亘り、喜多市に於いて喜多市立第一中学校並びに塩川中学校の教職員19名ご参加のもと、ライオンズクエスト校内型ワークショップが開催されました。参加者は2日間の研修会で直接プログラムを体験し、ライフスキル学習と指導法について学び、修了証と教材一式を受け取りました。これにより今後、参加2校は生徒を対象とし

た実践授業を行い、全学年全クラスでプログラムを取り入れるなど一定の条件を満たす事により「モデル校」となります。参加された教職員の皆様からは、「素晴らしい体験ができ、ぜひ生徒達にも広めていきたい」と熱のこもった感想をいただきました。いじめなどのさまざまな問題を抱えた現代の教育現場に、今後より一層ライオンズクラブのサポートを充実させていきたいと思っております。



東日本大震災合同支援事業としてサポート



歓迎 がんばっぺ！日本・福島・富山
東日本大震災合同支援事業
 ライオンズクラブ国際協会334-D地区 高岡志貴野ライオンズクラブ
 ライオンズクラブ国際協会332-D地区 郡山南ライオンズクラブ

郡山市大槻町にある福島県立聾学校の児童・生徒らを同校の子供たちを支援する334・D地区高岡志貴野ライオンズクラブとの東日本大震災合同支援事業としてサポートしました。

8月22日から24日までの2泊3日の日程で、児童・生徒らは富山県高岡市の子供たちと交流し、立山の大自然を楽しみました。参加したのは同校の小学5年生から中学1年生児童生徒9名と保護者4名、同校教諭6名、郡山南ライオンズクラブ2名の合計21名。

天候にも恵まれ、子供たちは車窓の景色を楽しみながら宿泊先である高岡市の二上まなび交流館を目指す。そして「富山県立高岡聴覚総合支援学校との交流」、富山県の雄大な大自然「立山の室堂散策」、「富山県ライオンズの森公園で本県の木・ケヤキの植樹」を参加者全員で行う。植樹には334・D地区ガバナーも参加していただきました。

高岡志貴野ライオンズクラブと郡山南ライオンズクラブとは、昨年度からチューリップの球根支援を通して、現在の小学部5・6年生と中学部1年生が交流してきました。その縁がより太く、強くなり、今回の「東日本大震災合同支援事業」が企画されました。



- 全行程
- 8/22 午前8:00 福島県立聾学校集合 出発
お見送り 同校校長先生はじめ教職員のみなさん 8名
保護者のみなさん 5名
午後3:30 332-D地区第3RZC L荒川友成 秘書L高橋 勝 郡山南LC3名
富山県高岡市 到着 歓迎式
 - 8/23 午前8:30 対面式そして立山(室堂散策)へ出発
高岡聴覚総合支援学校の児童生徒(6名)同校教諭(5名)と合流、対面式
午前11:30 室堂到着(2450m) 散策 児童生徒ら交流をはかる
午後3:30 高岡聴覚総合支援学校の児童生徒たちとお別れ式
午後5:00 パーベキュー&キャンプファイヤー
 - 8/24 午前10:00 富山県 ライオンズの森公園にて記念植樹
福島県の木 ケヤキ等 約20本
高岡志貴野LC L28名 334-D地区ガバナー L木村正明
植樹コーディネーター 5名
午前11:30 解散式 出発
午後6:30 福島県立聾学校 到着 解散式





第6R・第2Z

「第二回ゾーン会議」開催

6R・2Zの第二回ゾーン会議は9月6日(木)相馬市の「うな扇」にてCABより針ヶ谷副幹事、木幡P・R・ライオンズ情報、門馬T、森青少年育成ライオンズクエストの各副委員長と原町LC・相馬LC・新地LCの各三役が出席して、午後6時より荒ゾーン幹事の司会で行われました。(飯館LCは、CM遠藤利治Lのお通夜の為、欠席)

議事の第一は、ガバナー公式訪問9月25日(火)について。会場は相馬市のフローラとし、各クラブの役割分担については原案通り承認されました。

議事の第二は、LCゾーン会費についての協議。プクティブティ費、ゾーン会費共に震災前の1LC2万円、ゾーン会費は1名500円(飯館LCは免除)で承認。ゾーンの事業としてはパークゴルフ大会などが承認されました。

諮問書・質問書については、9月15日までZCへ報告する様に要請がありました。その後、CAB役員による第回CAB会議の報告があり、懇親会に移りました。

懇親会では、相馬LCより富山県の砺波LCから50万円のアクティブティの申し入れがあり、これをゾーンのA

クティブティにしては...という発議があり、大いに盛り上がりました。因みに富山県砺波LCは、昨年11月の原町LC例会に15名で来訪され、津波被害跡や原発の被害を見聞し、原町LCに10万円の義援金を寄贈されて行かれました。(江戸時代、富山県より相馬地方は多くの移民を受け入れております。縁で、市の間でも交遊があります。)



各ライオンズクラブ 活動報告

Lions clubs-Activity report

第1R・第1Z

川俣ライオンズクラブ

■交通安全ふれあいキャンペーンに参加

7月17日(火) 交通安全ふれあいキャンペーンに参加した。街頭でドライバーに啓発用品を配布しながら安全運転を呼びかけた。町内で交通量が増え、重大な交通事故が起きたばかりなので、一台一台丁寧に交通安全について呼びかけた。参加4名



■「川俣ライオンズクラブ杯ソフトボール大会」を主催

8月4日(土) 第29回川俣ライオンズクラブ杯ソフトボール大会を主催。月舘農村広場においてスポーツ少年団8チーム(延べ160名)の選手たちがライオンズクラブ会員や保護者の声援を受けて熱戦を繰り広げた。暑い日中の試合を避け、ナイターを利用して実施した。参加チームに参加賞、入賞チームには楯を贈呈した。



第1R・第1Z

福島ライオンズクラブ

■「大野九郎兵衛の墓所」清掃

8月25日(土) 赤穂ライオンズクラブとの姉妹クラブの縁となった「大野九郎兵衛の墓所」清掃を行った。



第1R・第1Z

福島信夫ライオンズクラブ

■7月29日(日)大森城山の史跡表示板点検・清掃



■8月26日(日)黒岩虚空蔵尊の史跡表示板点検・清掃



元気と笑顔と郷土愛で復興

332-D地区アクティビティスローガン

■放射能物質減線液を使用して、減線作業を実施

8月27日(月)放射能物質減線液「のぞみ液」を使用して、障害者更生施設「もちずりワーク」の減線作業を行ないました。今後も経過をみながら継続する予定。L9名が参加しました。



第1R・第1Z

桑折ライオンズクラブ

■島根県多伎町LC招待に参加した子供・父兄と納涼パーティー

8月22日桑折町商工会事務所前で恒例となった納涼パーティーが行われた。例年は、会員増強の一環としてノンライオンの友人を招き友人交流会という形で行われてきましたが、今年は、先日島根県多伎町ライオンズクラブのご招待でホームステイに行った4名の子供達と父兄をお招きしその体験談や感想などを発表してもらいました。とても楽しく充実したホームステイだったようです。参加ライオンを含め21名で楽しいひとときを過ごすことが、出来ました。



第1R・第1Z

福島グリーンライオンズクラブ

■「やれること実行委員会」へ支援金30万円を贈呈

8月1日(水)小樽市の「やれること実行委員会」へ「支援金30万円」の贈呈式をクラブ事務局で行いました。福島県内在住の親子を中心に実施される、小樽市滞在プロジェクトに活用されます。L4名参加



■「福島市少年会ソフトボール大会」の参加チームへバットを贈呈

8月5日(日)福島市少年会ソフトボール大会が北沢又小で開催され、ジュニア27チーム、中学生4チームへ、バット各チーム1本ずつ贈呈しました。L14名が参加しました。



各ライオンズクラブ 活動報告

Lions clubs-Activity report

第1R・第2Z

東和ライオンズクラブ

■早朝アクティビティ環境整備奉仕作業を実施

地域に特別養護老人ホーム羽山荘の施設法面を7月29日(日)午前6時から会長(紺野平)はじめ14名が早朝より参加し、実施しました。夏祭りの前にと土手や芝生花壇など雑草を刈り払いしました。



■東和キッズバドミントンクラブに激励金1万円を贈呈

7月25日(水)東和ライオンズクラブ例会の席で東和キッズバドミントンクラブ男子と女子が京都府長岡京市で開催される第28回若葉カップ全国小学生バドミントン大会に出場することとなり、東和ライオンズクラブでは激励金10,000円を贈呈した。なお、6年生伊藤龍希君と4年生伊藤翔君兄弟が例会場に赤いユニホーム姿で出席してくれました。



■「うぶかの郷」植栽の手入れ

8月11日、早朝、桑折町内にある研修施設「うぶかの郷」の除草・清掃活動が行われた。毎年数回継続的に行われているアクティビティで設置されたうぶかの郷の文字の植栽やうぶかつ鯉の放流池周辺を中心に10名のライオンの参加で行われた。



第1R・第2Z

安達ライオンズクラブ

■平成24年度二本松市街頭献血キャンペーンの協力

7月18日(水)「平成24年度二本松市街頭献血キャンペーン」への協力として、二本松市役所正面玄関前での開会式セレモニーに会長L本多和弘が出席。ベアシア安達店駐車場で二本松市安達赤十字奉仕団と協力し、献血及び啓発運動を実施しました。当日は、猛暑の中、啓発運動を実施した結果、昨年より多くの方々(200ml 20人、400ml 47人)に尊い献血の協力をいただくことができました。事業委員長L遊佐幹夫、会長L本多和弘、会計L小野祥、L安斎克彦、L佐藤運喜、L安田和枝、L平栗征雄、L遊佐久男の8名が参加協力しました。

安達LC会長 L本多 和弘



元気と笑顔と郷土愛で復興

332-D地区アクティビティスローガン

第2R・第1Z

福島中央ライオンズクラブ

■薬物乱用防止教室開催

実施日:8月1日(水) 福島成蹊中学校において、全校生徒を対象に薬物乱用防止教室が開催され、講師として6名のライオンが参加。認定講師による講演と、薬物の依存症や身体への影響などを学ぶDVDを上映し、寸劇をまじえながら、薬物の危険性、薬物にかかわらないための心構えなどを講義しました。



■「ふくしまっ子教育体験授業」

実施日:8月2日(木)～8月4日(土)放射能の影響により学校において屋外活動が制限されている「ふくしまっ子31名」を新潟県佐渡市に案内し、海水浴や佐渡ライオンズクラブとの海岸清掃など屋外での活動を満喫しました。



■世界で一番幸福な国「ブータン王国」訪問

首都ティンプー市内のジキメロシェル小学校に30万円相当の学用品を贈った。また、幼稚園から6年生までの各教室を巡り授業を見学し親交を深めました。



第1R・第2Z

本宮ライオンズクラブ

■本宮市子連球技大会に協賛した

8月5日(日)本宮市子ども体育連絡協議会主催の本宮市子連球技大会(バドミントン)に協賛し、会長L落合良二が子供たちに激励の挨拶をした。

■結成以来、1,000回目の例会が開催された

本宮LCが結成以来開催の例会が8月23日(木)で節目の1,000回を数え、41年と8カ月でチャーターメンバー5人在籍。名誉顧問L三浦勝真よりお祝いのご挨拶を頂き、多数の会員・ネスの参加のもとチャーターナイト・結成式の昔話に花が咲きました。



各ライオンズクラブ 活動報告

Lions clubs-Activity report

第2R・第1Z

福島西ライオンズクラブ

■中合ツイン広場で街頭献血運動を実施

8月1日(水)午後2時から5時まで、福島市の中合ツイン広場で街頭献血運動を繰り広げた。社会貢献のため、年に3回恒例のアクトである。猛暑の日でありましたが、快く市民の方及びクラブ会員の社員の皆さんが協力してくれました。クラブメンバー約20人が参加し、通行人にポケットティッシュを配り、献血者にはタオル、お菓子、お茶などをプレゼントしました。
PR情報委員長 L加藤



■恒例である「福島駅西口清掃活動」の1回目を実施

恒例である年間5回実施計画による1回目の福島駅西口清掃活動を8月19日(日)の早朝6時30分から会員15名により実施した。マナーは比較的、以前より良くなったとは言え、吸い殻・食べかす・ゴミ袋などが目立ち、それらを拾い集めた。早い時間にも関わらず猛暑で大量の汗をかき、心地よい一日のスタートが切れたと全員満足でした。
PR情報委員長 L加藤 勝夫



元気と笑顔と郷土愛で復興

332-D地区アクティビティスローガン

第3R・第1Z

郡山南ライオンズクラブ

■2012年8月15日(水) 花火大会翌朝清掃奉仕

8月14日(火)午後7時より、郡山カルチャーパークに於いて、「第41回あさか野夏まつり花火大会」が開催された。翌日8月15日(水)早朝より、会場となったカルチャーパーク周辺の清掃奉仕をL8名の参加で、夏の夜を魅了する花火大会への御礼も含め散乱するごみを収集しました。



第3R・第1Z

郡山東ライオンズクラブ

■郡山駅前西口広場「第252回早朝清掃」を実施

社会奉仕活動として、24年間に渡り継続している「第252回郡山駅前西口広場の早朝清掃」は、8月2日(木)午前6時より会長(L安斎友吉)と会員の計12名で実施しました。8月2日より始まる「郡山うねめ祭り」を前にして、広場内のタバコの吸い殻・菓子袋・ジュースの空き缶などを約1時間拾い集めました。



第2R・第1Z

福島松川ライオンズクラブ

■「挨拶運動」を行いました

2学期の始まる、8月27日と28日の二日間、町内の4小学校の校門の前で、挨拶運動を行いました。今期で継続30年間のアクティビティとなります。



第3R・第1Z

田村ライオンズクラブ

■「灯籠流しと花火大会」で大会会長賞を受賞した

8月19日(日)田村ライオンズクラブでは、船引町観光協会主催「第63回灯籠流しと花火大会」が行われ、最高賞の大会会長賞を受賞した。今年の灯籠は、「復興之龍」十二支の一つである龍は、力の象徴であり、手に持つ光る玉は、あらゆる幸運や、運気を引き寄せると信じられてきました。風水では、東南の方角に龍の置物を置いてお水をお供えすると、龍が水を飲みに降りて来て、仕事運を上げたり、商売を繁盛させたりすると言われております。東日本大震災・原発事故から一年が経過し、今年は復興元年として東日本を始め、田村市の発展を願い、田村ライオンズクラブメンバー同力と心を合わせ、長さ5M・幅3.5Mの大灯籠を作成しました。船引町では、一番の出がけがあり、町内外の見物客でにぎわうこの日に田村ライオンズクラブそして、ライオンズクラブのアピールの場として毎年参加しています。



各ライオンズクラブ 活動報告

Lions clubs-Activity report

第5R・第2Z

白河ライオンズクラブ

■第15回少年少女ティーボール大会への協賛

8月5日(日)白河市表郷総合運動公園で行われ、会長から、優勝チームに「金メダル10個」、準優勝チームに「銀メダル10個」を贈呈した。



第6R・第1Z

いわき勿来ライオンズクラブ

■第25回いわき勿来ライオンズクラブ旗争奪中学校野球大会を開催

平成24年8月18日・19日の両日、いわき市の南部アリーナにて、第25回いわき勿来ライオンズクラブ旗争奪中学校野球大会を開催した。この大会は青少年の健全育成と中学生の野球技術向上を目指し、毎年開催している。今年の大会は、晴天に恵まれ、市内南部地区の7チーム(1チームは3つの中学校の連合チーム)で、熱戦が繰り広げられた。

●優勝…勿来第一中学校/●準優勝…錦中学校/●第三位…勿来第二中学校 入遠野中・上遠野・田人中の連合チーム



第3R・第1Z

郡山西ライオンズクラブ

■子供たちと一緒に「早朝清掃」を実施

8月11日(土)午前6時30分より、ライオン9名、夏休みの子供達3名の計12名で今期2回目の早朝清掃を行いました。7月にも同じ場所(新さくら通り~4号バイパス)での清掃を行いました。前月以上に沢山のゴミが捨てられており一部の日本人のモラルの低下を感じずにはいられませんでした。しかし、今回参加した3人の子供達はこの清掃活動を通じて何かを感じ、考えるきっかけが出来たのではないかと思います。郡山西ライオンズクラブの今期の年間目標は「原点にかえて身近な奉仕」です。小さな奉仕活動でも、継続して取り組み意味のある物にして行きたいです。



第4R・第2Z

柳津ライオンズクラブ

■ほたるの里 柳津

今年度は柳津ライオンズクラブ結成30周年に当たり、記念アクティビティの一環として、広域農道会津パールラインの長倉地区道路沿いに蛍の生息地である事を知らせると共に、自然環境保持と育成の大切さの再確認をアピールする立派な看板を設置した。



「GMT・GLT ワークショップ」開催

- 開催日 2012年10月26日(金)
- 受付 14:00～
- 開始 14:30～
- 懇親会 17:00～
- 開催場所 郡山市「郡山ビューホテル」

＜各クラブの会員委員長を対象としたワークショップ(体験型講座)です。＞

GMT・GLTワークショップは会員増強・会員維持を目的としています。
各クラブがワークショップを実践することにより、会員の参加意識を高め結束や仲間意識を強める効果があります。また、多くのディスカッション(論議)をすることにより、クラブの抱える問題点を考え把握し、解決に向けた行動計画を立案することができます。

- GMTとは…Global Membership Team(グローバル会員増強チーム)
- GLTとは…Global Leadership Team(グローバル指導力育成チーム)
- CEPとは…Club Excellence Process(クラブ向上プロセス)クラブの改善を目的としたワークショップ・プログラム

「薬物乱用防止教育認定講師養成講座」開催

- 開催日 2012年11月3日(土・祝)
- 受付 12:30～
- 開講 13:00～
- 開催場所 郡山市安積総合学習センター
「サンフレッシュ郡山」2F集会室

この講座は内閣府、厚生労働省、警察庁、文部科学省の後援を受け、(公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センターと332-D地区の共催で開催します。

現在、全国的にライオンズクラブ認定講師への要請が増えており、地域での薬物乱用防止教室の実施が一層推進されております。

メンバーの皆さんが講座を受講し、自ら講師として学校へ出向き薬物乱用防止教室を開催することにより、薬物乱用から青少年を守り、健全育成をはかることができます。薬物汚染の現状はますます低年齢化・潜在化傾向にあります。地域社会一体となり正しい知識を身につけ小学生・中学生の小さい時から啓発することが重要です。

多くの会員の受講ご参加をお願い申し上げます。
※お申込みは各クラブ事務局にて行っております



2012.7~2013.6 会長テーマ「健康に感謝 社会奉仕に喜び」

ライオンズクラブ国際協会332-D地区第2R第1Z 福島あづまライオンズクラブ

会長 上田 洋一 幹事 武田光司 会計 橋谷田 良子

”25周年記念例会”

と き／平成24年10月21日(日)
ところ／ウェディング エルティ

土地から住まいまで

■賃貸住宅管理業者登録番号／国土交通大臣(1)第891号 ■建設業許可番号／福島県知事許可(般-22)第22384号
■宅地建物取引業／福島県知事免許(11)第10166号 ■マンション管理業者登録番号／国土交通大臣(2)第021856号



第2R・第1Z・ZC 代表取締役 L 藤田勝太郎(福島東LC)

■本 社／福島市太田町24番15号(JR福島駅西口より徒歩7分) ☎(024)525-1211(代)
Home page : <http://www.nihontsusyo.jp/> E-Mail : mail@nihontsusyo.jp
■福島駅東口支店／福島市米町11番25号(福島駅前通りAXC(アックス)ビル1階) ☎(024)528-1007 JR福島駅東口より徒歩5分)

せっかくのバランスのいい食事。でも、 腸がいい働きをしないとったいない。

食事の栄養バランスを気づかう人は多い。でも腸のことまで気づかう人は少ない。それ、惜しいと思うのです。
これからは、栄養を吸収してくれる唯一の器官「腸」のことも、ぜひ一緒に考えてください。乳酸菌 シロタ株で、
腸内環境を整えるヤクルト。毎日飲むだけ。おいしくて、カンタンな、腸のトレーニングです。



いい菌をとどければ、腸はいい働きをする。それが **腸トレ。**

ヤクルト400/ヤクルト400LTはヤクルトレディがお届けしています。 調べ

人も地球も健康に **Yakult** 福島ヤクルト販売(株)／福島市御山字中川原 116 〒960-8252 TEL.024(535)8960
＜商品のお申込み・お問合せ＞ ☎0120-8960-59(受付時間 8:30~17:00 土・日・祝日を除く)
ヤクルト

(有)古関商店

L 古関勝利 (福島あづまLC)

各種おつまみ取り扱っております
地方発送も承っております

〒960-8033 福島市万世町5-3
TEL 024-522-0640 FAX 024-522-0634



サラダパンでおなじみ!
愛され続けて44年

(有)たけだパン

代表取締役 武田博司
取締役会長 L 武田光司 (福島あづまLC)
本店・工場／福島市山下町1-2
電話(024)534-9574 FAX.(024)531-6654

幼児・小中高生・社会人・外国人講師派遣コース／英語・算数・数学・国語・理科・社会／英会話・スペイン語会話・イタリア語会話
福島県知事認可校修学館

公認二本松イングリッシュスクール

(福島あづまLC所属)

〒964-0902 福島県二本松市竹田1-90-2 電話(0243)23-0740 Fax.(0243)23-0741

発行／2012年10月
発行所／332-D地区キャビネット事務局
発行者／L坂本 勇

編集人／L村上 征位起
発行所／PR・ライオンズ情報委員会
発行／ライオンズ福島編集局

事務局／〒963-1010-2

FAX 郡山市安積町笹川字彼岸塚22-19
024-1937-1083
024-1937-1083
024-1937-1083